

産業建設委員会 行政視察報告書

■日 時：令和4年5月17日（火）～19日（木）

■参加者：柳田 守（委員長）・金屋栄次（副委員長）
高野早苗・木島信秋・橋本文一・新村文幸

■視察先及び視察事項

- ・熊本県阿蘇郡西原村「阿蘇ミルク牧場」
観光牧場の取組みについて
- ・大分県別府市
企業誘致について
新型コロナウイルス感染症対策に係る事業者支援について
- ・大分県国東市「道の駅 くにさき」

黒 部 市 議 会

産業建設委員会行政視察について

1. 視察日程

令和4年5月17日（火）～令和4年5月19日（木）

2. 視察先

- (1) 阿蘇ミルク牧場 熊本県阿蘇郡西原村河原 3944-1
- (2) 大分県別府市 大分県別府市上野口町 1-15
- (3) 道の駅 くにさき 大分県国東市国東町小原 2662-1

3. 行程

- 5月17日（火） 午前：移動
午後：阿蘇ミルク牧場
【熊本市内で宿泊】
- 5月18日（水） 午前：長者原ビジターセンター（大分県玖珠郡九重町）
午後：九重夢大吊橋（大分県玖珠郡九重町）
別府市
【別府市内で宿泊】
- 5月19日（木） 午前：道の駅 くにさき（大分県国東市）
午後：移動

4. 視察事項

- (1) 阿蘇ミルク牧場【5月17日（火）14：00～16：00】
「観光牧場の取組みについて」
- (2) 別府市【5月18日（水）15：10～16：10】
「企業誘致について」
「新型コロナウイルス感染症対策に係る事業者支援について」
- (3) 道の駅 くにさき【5月19日（木）10：30～11：30】

【熊本県阿蘇郡西原村】

○西原村の概要

西原村の位置

西原村は熊本県の中心部熊本市から東方20キロメートル北緯32度54'19"の地点に位置し、東西約9キロメートル南北8.5キロメートル総面積77.22平方キロメートルです。

東は阿蘇郡南阿蘇に北部は大津町、北西部は阿蘇くまもと空港に、南は上益城郡御船町および同群山都町にそれぞれ接しています。

村の東部は阿蘇外輪山の一部である標高1,095メートルの俵山を中心に広大な原野と山林からなり、面積は約6,126ヘクタールで総面積の80%を占めています。

山麓と益城町に接する台地は本村唯一の耕地として畑、または樹園地として利用されているほか、西流する鳥子川と木山川流域または、そのほかの小河川流域には水田が拓けています。

山からの風を多く受け、西原では俗に東風のことを「まつぼり風」と呼びます。



西原村の人口 令和4年2月28日現在 人口/6,733人 世帯数/2,730世帯

西原村の歴史

村にはいつの頃から人が住んだのか明らかではないが、1万年前であるだろう。(村の出土品による)縄文時代の石器が出土しており、弥生時代の青銅器、鉄器も出土している。農耕文化が進むにつれて、狩猟、山の生活から次第に平地に移住したと思われる、村では特に見るべきものは出土していない。

大化の改新(西暦645)大和朝廷は、全国に国と郡を置くが、山西地区は阿蘇郡となり、河原地区は益城郡となる。

平安期(西暦794)に入ると、阿蘇氏の勢力は県下に広がり、鳥子神社を始め村内の各社に阿蘇の神が祭られる。

天正3年(西暦1575)島津氏が肥後に侵入したとき、鳥子城、門出城が落ちている。

細川氏が肥後の藩主となると、寛永10年(西暦1633)手永(てなが)の制度を設けた。その役所を会所と呼んだが、布田地区の上に史跡が今も残っている。

布田手永には南郷谷の西半分と、山西区が入り、河原区は沼山津手永に入る。手永には惣庄屋があり、庄屋、頭百姓などと農民の自治組織をしき、新所地区のような軍事を含んだ足軽鉄砲隊の村もあった。

幕末期(西暦1853)頃が産業・治水・土木等村として一番活動があった。宮山・下小森・布田に堤が出来、河原には新井手・嘉永井手が完成するなど、開墾・開田産業の発達に大きな力となったが、矢野甚兵衛による大切畑の堤の完成は、小森・鳥子方面の水田100ヘクタールに及び広大な恩恵を与えた。各地区の観音像・薬師堂・地藏尊・猿田彦大神等の建立がこの時代になされた。

明治4年には熊本県が置かれ、12年には郡町村制がしかれた。明治5年に学制がしかれ、7年には鳥子小学校が創立され、河原では田中の庄屋跡に創立されている。

昭和35年に、山西村と河原村が合併して、西原村が誕生した。



白糸の滝



棚田



白山姫神社

阿蘇ミルク牧場 酪農・乳業の理解醸成施設

より多くの人々に酪農業の魅力や大切さを伝えるため、豊かな酪農文化を背景に、生産者と生活者の交流や酪農・乳業への理解醸成に取り組んでいます。阿蘇ミルク牧場は、雄大な阿蘇山を取り囲む外輪山の標高 430mに位置し、総面積 33ha の広大な敷地からは、天気の良い日は遠くに有明海をこえて長崎県雲仙普賢岳までも眺望できます。牧場では世界 5 大乳牛といわれるホルスタイン・ガンジー・ジャージー・エアシャー・ブラウンスイスの 5 種類の乳牛を飼養しています。それぞれの乳牛の生乳をブレンドして牛乳やチーズ、バターなどを製造しています。



学ぶ・体験する

牛のこと、酪農のことを見て触れて体験して、命の温かさ、職・食・触を知ってもらうため、牛舎では牛の乳しぼり体験を毎日開催しています。牛乳はどんなふうにかけるのか、乳牛のぬくもりなど知ることができます。



動物とふれあう

阿蘇ミルク牧場には、乳牛のほかにも山羊、羊、犬、豚、ポニー、うさぎ、鴨、モルモットなど、たくさんの動物が暮らしています。ふれあい広場ではそんな動物たちと自由にふれあうことができます。また、ポニーの乗馬体験や、山羊・羊の動物レースも行っています。

手づくり体験館

ミルク牧場内で製造している牛乳や熊本県産にこだわった材料を使いパン、ウインナー、バター、季節のスイーツなどの手づくり体験教室を開催しています。



食べる・買う

自家製乳製品や季節の野菜などを使った料理が楽しめるバイキングレストランや、熊本県産牛肉が味わえるバーベキューで熊本の自然の恵みがお楽しみいただけます。またミート製品をはじめ、牧場内で製造している牛乳やチーズ・バター等のお土産が揃っています。

○視察概要

【応対者】 阿蘇ミルク牧場 社長 藤井正美氏
管理・営業グループマネージャー 脇岡 環氏

- ① 事業所名 らくのうマザーズ阿蘇ミルク牧場
- ② 運営会社 株式会社マザーズファーム
- ③ 従業員数 54名(出向含む)原則全員日勤、繁忙時には派遣会社依頼
- ④ 資本金 1千万円
- ⑤ 主な事業 家畜等の飼育、貸付、販売
牛乳乳製品の製造、販売事業
レストランの経営、食料品及び雑貨の販売
ミルク牧場の管理運営受託(熊本県酪農組合連合会から)
- ⑥ 年間入場者 20.6万人(R3実績)
- ⑦ 入場料 3歳以上一人400円

【視察所感】

施設規模、事業形態(西原村から借り上げた施設を熊本県酪連が経営)は異なるが、乳牛等を飼育し、生乳等の加工(バター・チーズ)及び牛乳販売を行っている点については基本的に同じと考える。コロナ禍による影響もあり、収益的には赤字とのことであったが、生乳販売25万6千トン(全国3位)の主力牧場の一つとして、頑張りどころの話があった。従業員は全員日勤で夜間は警備会社契約。入場料を収益の一部とするが「くろ牧」においてもその是非の検討が必要。また何よりも生乳販売の拡大や加工製品の拡大など牧場の強みを生かした経営戦略が重要であり、合わせて民間専門家等への経営主体の変更(売却含む)が喫緊の課題であると改めと認識した。



バイキングレストラン



物産館



パークスタジアム



牛舎



ミルク工場



藤井社長より説明



入場口にて

【大分県別府市】

○別府市の概要

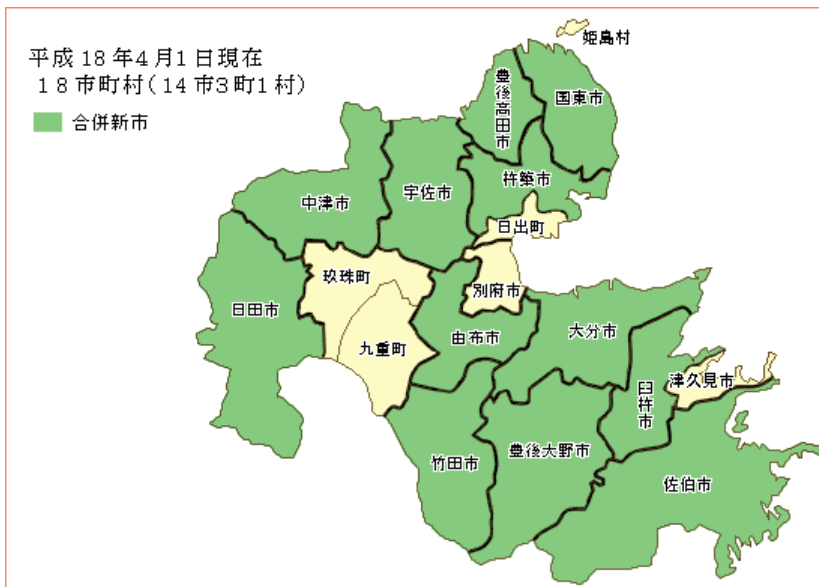
位置と地勢

別府市は、九州の北東部、瀬戸内海に接する大分県の東海岸のほぼ中央に位置し、南は野生のニホンザルで有名な高崎山をへだてて県都大分市と隣接、北は県北・国東テクノポリス地域としてハイテク関連企業が進出する国東半島の市や町と接し、西は阿蘇国立公園に属する由布岳、鶴見岳の連山を中心に南北に半円形に連なる鐘状火山(トロイデ)に囲まれその裾野がなだらかに波静かな別府湾に続く扇状地である。

市内には、古くから「別府八湯」と呼ばれる温泉群が点在し、2千8百を数える源泉から湧出する温泉は、毎分約10万3千リットルにも及び、医療、浴用等々、市民生活はもとより観光、産業面にも幅広く利用されている。

市役所所在地	面積 (k m ²)	位置		広ぼう	
		東経	北緯	東西	南北
別府市上野口町 1番15号	125.34	131度29分28秒	33度17分04秒	13km	14km

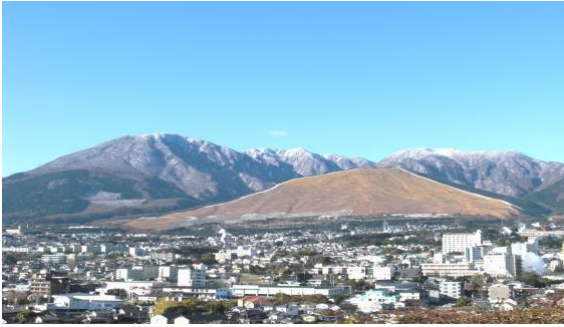
大分県内の市町村図



沿革

別府温泉について記されている最古のものは「豊後風土記」で、現在の鉄輪地区に古代から地獄が存在し、豊富な天与の温泉に恵まれていた。今日の別府の地名は、荘園時代に新開地の開墾、領有に際して必要とされた免符である「別符」が「別府」と書かれるようになり、これが地名となったと言われている。明治時代に入ると、交通機関の発達と交通路の整備により大きく発展し、明治39年には人口12,308人の別府町が誕生、全国的にも湯治場として知られるようになった。大正時代には、観光地としての性格を加え、大正13年4月1日に、人口36,276人の別府市が誕生した。

幸いにして第2次大戦の戦災をまぬがれ、昭和25年制定の「別府国際観光温泉文化都市建設法」の指定を受けるなど、着実に発展を続けている。平成12年には、公私協力方式により学生の半数が留学生である「立命館アジア太平洋大学」が開学し、既存の大学、姉妹都市、友好都市と学術、国際交流を積極的に図っている。現在では市政のさらなる飛躍・発展のため、地域資源である、別府の歴史・伝統・文化・産業を磨き、別府の誇りを創生する取組みを推進している。



別府の風光明媚な山と海（左：扇山、右：別府湾）

日本一の別府温泉

別府市には、別府八湯という8ヶ所の温泉地があり、これらをまとめて別府温泉郷と称している。別府八湯とは、別府・浜脇・観海寺・堀田・明礬・鉄輪・柴石・亀川の各温泉地を指し、それぞれが特徴を持っている。

別府湾一帯から、九重・阿蘇を経て島原半島を含む広大な地域は、地盤が沈む地溝帯で、この地溝を中心に活性化した火山活動は地熱温泉活動をもたらした。この火山活動により、別府の地形には二つの大きな断層が生じている。この断層と鶴見岳やガラン

岳の火山活動が影響しあい、地下のマグマからの熱が噴出した高温高圧の「熱水だまり」が地下数千メートルの所にできる。地下に浸透した雨水は、マグマの熱で温められた「熱水だまり」にふれ、再び地表に噴き出す途中、さまざまな成分を取り込み、温泉水となる。

別府市内には2,856の源泉があり、毎分の湧出量は102,975ℓ。これは、日本一の源泉数・湧出量を誇る。（令和2年3月31日現在「令和2年度東部保健所報」による）



「別府の湯けむり」

- NHK「21世紀に残したい日本の風景」で全国第2位
- 「かおり風景百選」に選ばれた

別府市の人口

令和4年3月31日現在 人口/112,655人 世帯数/60,767世帯

(うち、外国人住民 人口/2,792人 世帯数/2,089世帯)

別府市議会

- 議員定数 25名 現員数 23名
- 常任委員会
 - 総務企画消防委員会 現員8名
 - 観光建設水道委員会 現員8名
 - 厚生環境教育委員会 現員7名
- 議会運営委員会 現員7名
- 予算決算特別委員会 現員23名（全員）

別府市主要施設概要

◎別府公園

別府市のシンボル公園として整備しています。

公園内には、樹齢約110年の松が約660本あるほか、クス、桜、モクセイ、椿など約110種、4,000本の樹木があります。

令和元年12月にはパークPFI制度を活用し、別府公園東側駐車場に便益施設（カフェ）を設置しました。

- ・開設面積27.29[h a]（ビーコン、総合体育館部分含む。）
- ・事業費約407億8千万円（ビーコン、総合体育館建設費含む。）
- ・駐車場普通車860台、バス30台



◎鉄輪温泉地区の石畳道

つぎはぎだらけの舗装や、老朽化した側溝の改修を行い、また観光地としてふさわしい道路とするため、自然石（烟台産御影石）を敷き詰めた石畳舗装を行いました。

欧米で長い歴史がありますが、国内では神社仏閣等歩行者用舗装として利用されています。鉄輪には昔から旅館や、自炊で湯治客を対象とした貸間が多く立ち並んでいます。今でも浴衣に下駄で出歩く観光客が数多くみられ、そのような観光客に雰囲気を楽しんでもらうことができます。

また、街路灯の整備、情報案内板の設置を行いました。

- ・事業期間平成17年度～平成21年度
- ・事業費 約5億円
- ・規模 延長約2.7[k m]幅員3～7[m]



◎別府リサーチヒル

平成2年8月ソフトウェア業等特定業種の集積促進地域に指定され、県の指導により別府市北部の丘陵地に研究開発型企業の集積地として「別府リサーチヒル」が平成8年3月に完成しました。

現在、セイコーエプソン（株）が操業しており残りの区画にも企業を誘致していく予定です。

- 分譲条件
 - ・対象企業／「旧頭脳立地法」に基づく特定16業種のうち、ソフトウェア業、情報処理サービス業、デザイン業、機械設計業、エンジニアリング業、自然科学研究所及び企業内の当該部門を優先
 - ・環境協定／良好な環境を維持するため建物及び緑化に関する協定の締結が必要

- 概要
 - ・所在地 別府市大字内竈字松田
 - ・用途地域 準工業地域
 - ・分譲残面積 5,599[m²]（1,693坪）4区画
 - ・平均販売単価 14,403[円/m²]
 - ・現況宅地
 - ・電力 6.6[k V]隣接 66[k V]まで 1[k m]
 - ・用水上水道
 - ・排水公共下水道接続地域指定都市計画上の制限有（地区計画区域）都市計画法第12条の5（地区計画）



○視察概要

【応対者】 別府市議会 小野正明副議長

花田事務局長、中村議事総務課長、岩男課長補佐、尾割主事
別府市産業政策課

1 企業誘致の取組(H29年～補助金制定)

- ①オフィス系企業誘致促進補助金（情報関連産業） 新規雇用者3名以上 →5件
- ②同上（BPO事業・コールセンター事業） 新規雇用者10名以上→1件
- ③同上（地域再生法に基づく本社機能移転事業） 新規雇用者5名以上 →該当なし
- ④サテライトオフィス等整備促進事業費補助金
→近年多数の問い合わせを受けるが、オフィスがない(飲食店向け店舗多)
- ⑤ワーケーションによる企業誘致活動
→紹介施設（宿泊46施設、コワーキングスペース7施設）

2 新型コロナウイルス感染症対策に係る事業者支援（産業政策課扱い）

- ①別紙中小企業者等賃料補助金(R2.4.21～R2.7.31)から春だヨ！べっぷエール券(R4.4.1～R4.4.22)まで計13件。
- ②上記内訳 賃料補助2件。感染予防3件。商品券4件。事業継続支援4件。(計13件)

【視察所感】

別府温泉は別府八湯と呼ばれる8か所の温泉地があり、源泉数(2,854)、湧出量(102,777L/分)ともに日本一とされる。市制施行は大正13年と古くからのまちであり、人口11万人余りと大分市に次ぐ県下第二の都市である。温泉地ということで第3次産業の従事者は9割近くにのぼる。市内には3大学計8,800人の学生が在籍し、うち世界90カ国から約3,000人の留学生が学んでいる。大分空港からバスで約40分の交通アクセスの良さを強みに羽田1日14便をはじめ、成田、伊丹、中部各空港とつながり、新規企業誘致に積極的に取り組んでいる。昭和60年建設の庁舎と同じく議場も重厚な施設であり古くからの歴史と伝統を感じた議会棟であった。

(市政概要は別添参照)



小野副議長のあいさつ



産業政策課より説明



庁舎前にて

【大分県国東市】

○国東市の概要

国東市の紹介

大分県北部の国東半島東部に位置する国東市は、瀬戸内海国立公園や国東半島県立自然公園、国指定名勝に指定されるなど、風光明媚な自然に囲まれたまちです。

両子（ふたご）山を頂点とする中央山岳部から放射状に延びる谷筋には田園や里山が広がり、水稻やクスギの原木によるシイタケ等が栽培されています。七島藪（国内では国東市のみの生産）や近年ではオリーブやくにさきオイスターなどの魚介類も市の特産品として生産されています。

歴史環境では、国東市の歴史を物語る文化財の件数は県内で最も多く、伝統的な祭りや芸能が各地に伝承されています。国東半島は神仏習合発祥の地で六郷満山（ろくごうまんざん）と呼ばれる独特な山岳宗教文化が栄えており、平成30年に開山1300年という大きな節目を迎えました。

また、2020年には大分空港がスペースポート（宇宙港）に選定されました。大分空港が立地する国東市にとって、今後産業振興などへの波及効果が期待されています。

位置、人口

- ・（国東市役所）大分県国東市国東町鶴川149番地
- ・世帯数：13,129世帯（2020年1月1日現在）
- ・人口：27,682人（2020年1月1日現在）

地理環境

- ・面積：318.1平方キロメートル（国土地理院 令和2年全国都道府県市区町村別面積調査）
- ・最高点：両子山（720.6メートル）
- ・隣接市：豊後高田市、杵築市
- ・気候：瀬戸内海式気候

市制15周年

国東市は平成18年3月31日に国見町、国東町、武蔵町、安岐町が合併して誕生し、令和3年3月に市制15周年を迎えました。

2021年を振り返る国東市10大ニュース（1位～3位）

【1位】ふるさと納税6年連続 県内1位（宇宙港をテーマにした返礼品も誕生）

令和2年度の国東市ふるさと納税の受け入れ寄附額は約25億円となり、県内自治体で6年連続1位、全国でも44位の実績となりました。

国東市にある大分空港が宇宙港に選ばれたことから、宇宙港に関連した返礼品の取り扱いも開始。これからも地域の魅力を生かした返礼品を開発し、ふるさと納税の拡大に努めます。



航空機の訓練装置を利用した
操縦体験も返礼品に

【2位】市内全域でケーブルテレビ施設の光化進む

市では、市内のケーブルテレビ施設の光化の整備を進めています。
令和2年度で安岐町・武蔵町向陽台の整備が完了し、令和3年度で国見町・国東町・武蔵町の整備が完了します。これにより、市内全域で高精細度映像の視聴や高速インターネットサービスが利用可能となり、都市部との格差が解消されます。

【3位】国東オリーブがオリーブジャパンで初の金賞受賞

国内唯一の国際オリーブオイルコンテスト「オリーブジャパン2021」で、「国東オリーブ」が初の金賞を受賞しました。市・県・農協・生産者が連携して、平成20年に市内で本格的に始まったオリーブ栽培。関係者一丸となって品質向上の努力を重ね、今回7度目の挑戦でついに金賞を獲得しました。



国東オリーブ

道の駅 くにさき 潮風とコバルトブルーの海が招く駅

ふるさとの原風景を体験できます

道の駅くにさきは六郷満山文化という独特の宗教文化の花開いた国東半島の東側に位置しています。

国東市観光課・国東市観光協会があり、レンタサイクルができる「国東市サイクリングターミナル」を中心に、国東のお土産が勢ぞろいした直売所「黒津之庄」、新鮮な魚介類などが豊富に揃い、レストランも賑わう「銀たちの郷」、とれたて新鮮野菜・花きが店内いっぱい並ぶ直売所「夢咲茶屋」が隣接。

また、「国東市サイクリングターミナル」内にあるレストラン「ベルコート」では、青い海を眺めながらランチやカフェが楽しめます。

白砂青松の黒津崎海岸をサイクリングしたり、国東特産の『太刀重』（銀たちの郷）や、『まごころセット』（夢咲茶屋）、他にも地元のお母さんたち手作りのお弁当やお総菜、おまんじゅうを味わうなど、遊んで・買って・食べて、お楽しみがいっぱいです。



○視察概要

【応対者】 国東市観光課 清成課長、三成主事

- ① 「道の駅くにさき」は、ア観光案内所・レンタサイクル施設、イ特産品施設、ウ農産物直売施設、エ・レストランの4施設で構成し、H16.8.9に開駅した。
- ② サイクリングターミナル（直営）
国東市観光課と観光協会が管理運営を担い事務所、レストランを有す。2Fはサテライトオフィスとして整備。貸自転車82台1日500円。
- ③ 物産館黒津之庄（指定管理）
(有)くにさき街づくり会社の運営する物産品販売所。地元生産者の海産加工品や農産加工品が人気
- ④ 農産物直売施設夢咲茶屋（指定管理）
(有)夢咲茶屋が運営する農産物加工直売所。農家が出荷する農産物販売のほか、食堂で団子汁、けんちんうどんを提供し、まんじゅう・漬物製造。元々農家女性有志が有限会社を設立し活動。コロナ禍で観光客が激減するも地元の地産地消として売れ行き好調とのこと。
- ⑤ 大分県漁協直営海鮮レストラン銀たちの郷
国東特産の太刀魚(銀たち)を太刀重や太刀魚寿司が食べられ、毎月第2土曜に朝市開催

【視察所感】

平成16年8月開業の地方一体型（市、民間、地元民、漁協等）の管理形態の道の駅ではあるが、コロナ禍においてもR1、R2とも65万人以上がおとずれ、売り上げ金額も2億3千万を超える。特筆すべきは地元の女性農家グループが特産品を製造販売し、「安心農産物制度」を創設し、多くの売り上げをあげている。単に行政、農協頼みで無いと思われるところが先進事例として研究に値すると思われる。



観光案内所入口



物産館



清成課長より説明